

ITで
働き方改革!

IT活用で作業効率をUPし、創造する時間を作ろう!

「働き方改革」、新聞やニュースで取り上げられることも多いのでご存知の方がほとんどかと思いますが、具体的な取り組みは何かされているでしょうか? 自宅で子育てしながら働く、会社から遠く離れた場所に住んで働く、好きな時間に短時間だけ働くなど、「一人一人に合った多様な働き方」を実現するためには、ITの力が必要となります。今回は様々な働き方に対応するためのITを活用した作業効率UP方法をいくつかご提案し、結果として理想的なワークライフバランス(充実した働き方と生き方の両立)を実現するためのお手伝いできればと思います。

シーン別 IT活用術

1. 会社に戻らないと仕事ができない、会議に参加できないなどの「会社でしかできない仕事」を解決

外出時に資料を忘れてしまった、客先ですぐに見積書の修正をしたい、遠方にいるが夕方の会議に参加するためにしなければならないなど、このような場合で会社へ戻らないとできない仕事であれば、移動時間などが大変なロスになってしまいます。

社外にいても社内へアクセスできる環境があれば、その場で解決することが多くあります。

また無駄がなくなると結果として労働時間が短縮され、残業を減らし質も高い仕事をすることができます。

→**テレワーク(リモートアクセス)、ファイル共有、web会議システム**



2. メールを送ったけど反応がわからない、同じ内容を何度も説明しないといけないなどの「コミュニケーション問題」を解決

メールを送ったが相手の反応がなく届いたかの確認をしないとけない、そもそも宛先を間違えて届いてなかった、過去のメールの確認に時間がかかってしまうなど、メールが原因で作業が滞ってしまうことがあります。

また上司や同じ案件を進めているメンバーに何度も同じ説明をするといったように、情報共有に問題があり、無駄が発生しているケースがあります。

特定の人に送るメールとは違い、案件ごとに複数のメンバー間でメッセージを共有するチャットを利用することで、宛先間違いはもちろん、同じ説明を何度もすることもなくなります。またメッセージの未読/既読がわかるサービスもあり、スピーディーで円滑なコミュニケーションが可能となります。

→**ビジネスチャットツール**



3. 報告や申請業務を自動化で業務効率を高める

日報や報告書など繰り返し決まった作業をしていることはありませんか? また紙で書かれた内容をデータ入力するなど2重作業をしていませんか? 頭で考える必要がなく淡々とこなす定型的な作業などは、ロボットを使って自動化することで、作業時間短縮と人為的なミス削減をすることができます。

地方自治体では定型業務が多く、導入することで大幅な時間削減を実現しているそうです。

→**RPA**



4. FAXによる送受信業務の効率化やペーパーレス

FAXの送受信のために離席したり、受信したFAXの確認や振り分けに時間を割いていませんか?

デスクに座ったままでFAXを送受信できるようにすることで作業効率UP。

また受信したFAXをメールで受け取ったり、自動で振り分けることも可能なため、確認漏れが少なくなります。

→**FAXサービス**



改革ツールとサービス

働き方改革に役立ちそうなツールやサービスの解説です。使えそうなものはありますか?

テレワーク

離れた所(tele)と働く(work)でテレワーク。サテライトオフィスやモバイルワークなど、どこにいても社内と同様に働けるような環境を作り、移動時間などを有効活用する。どこまでの操作を許可するかなどのセキュリティポリシーが重要。

ビジネスチャット

メールのように宛先を入力せずに、複数のメンバー間でメッセージやファイルをやり取りする。案件ごとの管理ができ、過去に遡っての確認が容易になる。スマホからも気軽に確認できる。代表的なものに「LINE WORKS」「ChatWork」「Workplace by facebook」など。

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)

定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する。人間の何倍ものスピードで作業をこなすことができる。定型のかつ膨大な作業量が発生する業務→作業時間短縮、単純ミスの削減。

FAXサービス

各PCからFAX送信可能。受信したFAXの送信元ごとの自動振分け。受信したFAXのメール受け取りや決まった場所へのファイル保存でペーパーレス化が可能。

様々な働き方に対応することには、まず既存の業務内容や手順を一旦リセットして、白紙の状態から効率化を考えることが重要です。常識や当たり前と思っているルーティンワークを見直し、IT活用で自動化・効率化することで、今まで見えなかった有効な時間が生まれます。

また単に作業が効率化されるだけではなく、サテライトオフィスでは異業種の方と触れ合うことで、業務と離れたところからの創造的なアプローチができるようになったり、業務時間短縮では残業が減少し、休暇を取りやすくなり、モチベーションのアップなどにもつながります。

今回の事例を参考にITを上手に取り入れ、効率化と共に「創造的な仕事をする時間作り」をされてはいかがでしょうか?

開発室から



二十数年ぶりに兼六園に行って来ました。有料の兼六園ですが、早朝は無料解放しています。今の時期なら6時から入園できますが、日の出が6時40分過ぎだったので7時ごろから30分ほどだけ園内を散策しました。流石に観光客も少なく、定番の撮影スポットである「ことじ灯籠」も撮り放題! 慌しい散策だったので、今度は時間を気にせずゆっくりきたいです。